

古代アメリカ学会 第15回研究大会

9:15~17:00
早稲田大学 戸山キャンパス
39号館 682教室

10.12.4.Sat.

写真提供:山本睦

古代アメリカ学会 第15回研究大会

—受付開始—		08:30
—開会の言葉—		09:15-09:20
—調査速報の部—		
井関睦美	アステカ王国拡大期の出神殿出土遺物	09:20-09:40
市川 彰	エルサルバドル共和国における先スペイン期遺跡出土人骨の調査	09:40-10:10
伊藤伸幸	エル・サルバドルにおける土壌からみた農耕の実態について	10:10-10:30
小休憩 (10分)		
大谷博則	コンチユコス地域での人類学調査	10:40-11:00
土井正樹	ペルー中央高地、ワンカ・ハサ遺跡、D字形建築の祭祀性	11:00-11:20
長岡朋人	パコパンパ遺跡から出土した人骨の生物考古学的研究	11:20-11:40
関 雄二	ペルー北高地パコパンパ遺跡における宗教的権威の交代	11:40-12:00
昼休憩 (60分)		
—研究発表の部—		
鶴澤和宏	形成期アンデスにおけるシカ狩猟	13:00-13:30
山本 睦	ペルー北部地域における地域間ルート	13:30-14:00
福原弘識	テオティワカンにおける住居建築の特徴と変化	14:00-14:30
井上幸孝	メシーカ人による伝統の摂取と変容	14:30-15:00
小休憩 (10分)		
今泉和也	コパン遺跡北部住居群、9L-22グループにおける建築拡大過程の復元	15:15-15:45
中村誠一	王朝崩壊後のコパン	15:45-16:15
青山和夫	マヤ文明の環境利用：セイバル遺跡の石器を中心に	16:15-16:45
猪俣 健	グアテマラ、セイバル遺跡より見たマヤ文明の起源	16:45-17:15

非会員の方もご参加いただけます(但し、資料代500円が必要です。)

- ◇ JR山手線
(高田馬場駅 徒歩20分)
- ◇ 西武線
(高田馬場駅 徒歩20分)
- ◇ 地下鉄東京メトロ
(東西線 早稲田駅 徒歩3分)
(副都心線 西早稲田駅 徒歩12分)

